

## お知らせ

愛媛大学大学院医学系研究科では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、医学部 2 年次学生を対象に、カフェインの投与有無による暗算作業への影響について、二重盲検試験を学生自身が被験者となって体験実習してもらうものです。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、この試験に学生が参加することをご了解いただけない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

### 【研究課題名】

医学科学生を対象としたカフェインの二重盲検試験の体験実習

【研究機関】 愛媛大学大学院医学系研究科 薬理学

【研究責任者】 茂木正樹（教授）

### 【研究の目的】

医学部 2 年次薬理実習履修生を対象に、二重盲検法による比較試験を学生自らが被験者となり体験実習を行うことを目的とします。この試験は、カフェインの精神運動興奮作用に着目して、カフェインの飲用の有無による暗算への効果を客観的に比較する研究方法を体験するもので、学生の将来の研究活動に役立つと考えています。

### 【研究の方法】

（対象となる学生）本学 2 年次薬理実習履修生で、本試験への参加を文章により同意した学生で、試験前日 17：00 以降にカフェインを含む飲料（コーヒー、コーラ、紅茶、緑茶等）の経口摂取を行っていないことが必要です。

（カフェイン投与方法）カフェイン（150mg）を加えるあるいは加えていない、カフェインレスコーヒー2.0g を適量のお湯に溶かして飲んでもらい、その後の暗算能力と心拍数について測定し、カフェインの影響を検討します。

（利用する試料）クレペリン検査用紙（暗算作業に使用します）

### 【個人情報の取り扱い】

試験で得られた情報は、氏名や学生番号と切り離し、個人が特定できないように記号をつけて管理します。氏名や学生番号と記号を結びつける対応表は、パス

ワードをかけてパソコンで保管いたします。試験の結果を、学会や学術誌へ発表する場合でも、氏名や住所などの個人情報保護されます。なお、これらの検査結果は非常に重要であることから、同意文書にて学生自身からの同意が得られれば、倫理委員会の了承を得た上で、将来新たにこのデータを用いた医学研究が計画され、データ解析が行われることも考慮されます。一方、同意が得られなければ、本研究が終了した時点で匿名のまま、かつデータ復元不可能な状態で廃棄するものとします。

< 試料・情報の管理責任者 > 愛媛大学大学院医学系研究科 薬理学  
茂木正樹

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

**【お問い合わせ先】**

愛媛大学大学院医学系研究科 薬理学 茂木正樹

791-0295 愛媛県東温市志津川

Tel: 089-960-5260